



コーパリハビリテーション病院・老健あかねだよい



No.149 2026年1月号

倉敷医療生活協同組合
コーパリハビリテーション病院
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541



厚生労働省 黒田老健局長のスライド。85歳以上が10年前から急増しています。この年齢層は病気が多数あります。一つ治したら次の病気、そうするうちに寝たきりのリスクがあります。

【老健の機能】
院、治つても衰弱となりかねません。弱病状悪化、入院、高齢者には仕事のない事情もありますが、再び病状悪化、入院、通行があります。医療のあとは施設といふ方のない事情も高齢者には仕事のない事情も

た。行って参りました。そのため11月の全国老健大会（山口県下関市）に

【はじめに】
施設も色々あります

が、介護老人保健施設、通称「老健」は2011年度介護報酬改定で

「在宅復帰施設」と明記されました。

国が求める老健は「地域包括ケアステーション」

～全国介護老人保健施設大会in下関～

新年の
あいさつ



迎春



2026年への抱負

(老健あかね管理者)
岡山県老人保健施設協会会
副会長 鍛本真一郎

【さいやこに】

それを防ぐのが病院としても退院後はまた老健が中心となり在宅生活を支え寝たきりの先延ばしも可能です。

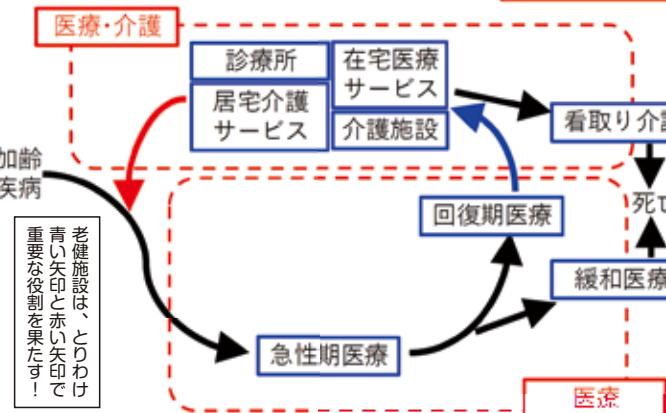
再び急性期病院に入院しても退院後はまた老健「中間施設」、老健で医療とりハビリテーションを適切な時期に短期間提供することです。

(コーパリハビリテーション病院
老健あかね 管理者 鍛本真一郎)

まさしくコーパリハ・あかねの「地域丸ごとリハビリ」の使命です。医療の使命も「治す」から「治し支える」に変わります。「支える」の核心は「予防支援」だと考えます。85歳の生活機能低下を予防するのです。

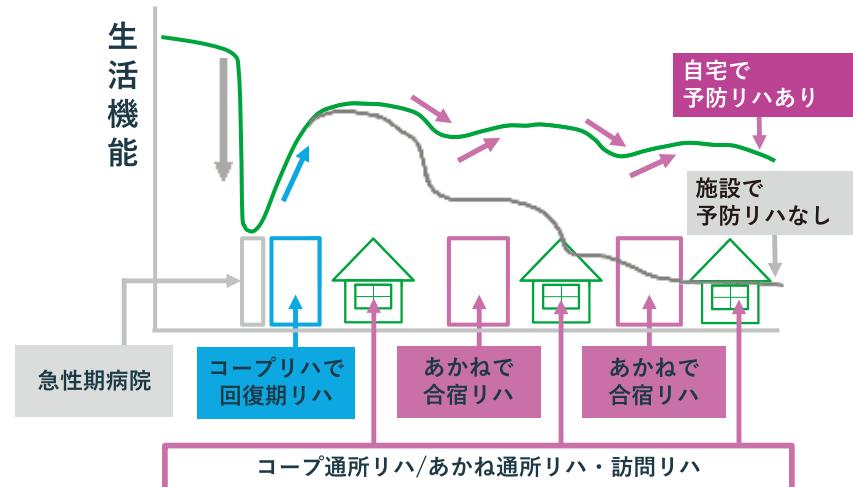
ケアサイクル
(長谷川敏彦によるものを筆者にて一部改編して作図)

出典:長谷川敏彦「ケアサイクル論—21世紀の予防・医療・介護統合ケアの基礎理論」
『社会保障研究』Vol.1.No.1,pp.63-64国立社会保障・人口問題研究所,2016



東洋大学社会福祉学科の高野龍昭教授のスライド。老健の誕生から今を講演。長谷川敏彦著「ケアサイクル論—21世紀の予防・医療・介護統合ケアの基礎理論」(人口問題研究所, 2016)を一部改編し紹介。

コーパリハと老健あかねが提唱する「循環リハビリ」



筆者が提唱する「循環リハビリ」。前図の「ケアサイクル論」と同時期にモデル化しました。特徴は高齢者に循環(サイクル)してリハビリを提供することです。予防の視点で在宅高齢者の生活機能の衰えを防ぐことが目的です。

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

